

久松 公生 議員



Q スマートインターチェンジの今後の展開について伺う

A 本市の産業基盤づくりのため、整備を実現したいと考えております

Q スマートインターチェンジの整備は高速道路の利便性の向上、周辺における交通渋滞の緩和、観光誘客、地域産業の活性化、経済効果等、本市発展のための可能性が大いに期待されるものと考えておりますが、今後の展開について伺います。

A 市長 スマートインターチェンジにつきましては、本市の産業基盤づくりのため、また、コロナ禍収束後の経済活動の回復を図るための物流・観光などの地域経済を支える意味でも極めて重要なインフラ整備であると考えております。ぜひとも計画を実現したいと考えております。

Q 平成30年12月25日に制定、誕生した、かすみがうら市公式キャラクター「かすみがうにゃ」は認知度も上がり、市民に愛される人気キャラクターになったと感じておりますが、今後はこの公式キャラクターをどのように活用していくのか伺います。

A 都市産業部長 「かすみがうにゃ」がデザインされているポロシャツやジャンパーなどにつきましては、市民の皆様から購入を希望するお問合せを頂くなど、好評を頂いており、商品化を検討しております。また、新たな生活様式においての効果的なPR活動の手法として、公式キャラクターのオリジナルソングやオリジナルダンスを作成し、動画配信することも検討しております。

3211 質問通告事項
本市の観光振興について
本市のシティプロモーションについて
本市のスマートインターチェンジ整備の実現について



かすみがうにゃ

宮嶋 謙 議員



Q デマンド型乗合タクシーの4月以降の運営について伺う

A 4月以降も継続して運行し、7月から運賃改定を行います

Q かすみがうら市のデマンド型乗合タクシーは令和元年3月末で廃止する方針が示され、この方針に対して市民から存続を求め運動が起こり、廃止時期が1年延期されました。この4月からの運行がどうなるか伺います。

A 市長 来年度以降のデマンド型乗合タクシーの運行については、4月以降も運行することとして、持続可能な公共交通体系を確保するため、収支率20%を目標としております。目標達成に向け、運行経費の圧縮に努めるとともに、料金改定を行うこととしたものであり、現状の試算では1乗車当たり650円となりますが、利用者への影響を考慮して、さらなる利用者の増加に取り組むことで600円としました。料金改定の時期は7月予定でございます。

Q かすみがうら市における新型コロナウイルスのワクチン接種の方法やスケジュールなど、どのような見通しになっているのか伺います。

A 保健福祉部長 ワクチン接種の見通しにつきましては、まだ不確定部分がありますが、65歳以上の高齢者の方を対象とするワクチン接種の開始時期は5月上旬頃になり、接種状況やワクチンの供給状況を勘案しながら、基礎疾患がある方やその他の方に対しての接種を順次進めていく予定で準備を進めております。接種は完全予約制とし、予約専用サイトや電話での予約受付になります。接種方法につきましては、個別接種と集団接種の併用になります。

3211 質問通告事項
新型コロナウイルスに対するワクチン接種について
デマンド型乗合タクシーの存続について
地域農業と経済の活性化のための地産地消促進について



▲デマンド型乗合タクシー

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、質疑応答を通常90分の持ち時間で行う一般質問は、45分に短縮して行いました。

- 質問通告事項**
- 1 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、福祉施設のクラスター抑制策と、市職員が感染した場合の行政事務業務継続計画（BCP）について
 - 2 かすみがうら市内私立認定こども園・保育園における保育士等の処遇改善について
 - 3 かすみがうら市地域公共交通計画について



来栖 丈治 議員



- Q** 私立認定こども園・保育園における保育士等の処遇改善助成金に関する請願が、昨年3月請願があり趣旨採択された。その後の協議経過について伺います。
- A** 市長 保育園の方からお話を伺い、感染症予防に取り組み一助並びに保育士の就労促進と離職防止を図るため、保育施設に補助する経費を新年度予算案に計上しました。支援の詳細は、常勤の保育士や保育教諭、一人につきまして、月額1万5千円の補助金を交付することで計画しております。
- Q** 本市の福祉施設の感染防止で、クラスター発生を抑制するため重要な、従業者や施設利用者のPCR検査状況について伺います。
- A** 保健福祉部長 県において、入所系福祉施設の従業者を対象に抗原定量検査を実施し、市内21施設のうち、実施済みは11施設で、その他の施設も申し込み済みです。施設従業者の検査は、総数812人に対し抗体検査実績は562人で実施率69%です。また、本市では希望による高齢者等対象のPCR検査助成事業を実施、3月1日現在26人の方が実施しており、全ての検査で陰性の結果でありました。

Q 市内認定こども園・保育園における保育士等の処遇改善についての請願、その後について伺う

A 令和3年度予算で常勤の保育士等1人、月額1万5千円の補助を計画しています

矢口 龍人 議員



- Q** 複合交流拠点計画する上で重要なことは、施設を利用する住民の意見を聞くことから始めるべきで、神立周辺地区5万人を対象とした施設であるべきではないだろうか。また、防災公園、図書館、市民ホールなどの本施設は、隣接する土浦市の市民が使用することが大いに想定されるため、土浦市との共同事業で整備するべきで、財政負担についてもお願いするのが当然ではないかと伺います。
- A** 市長 今回の施設等につきましては、土浦市と隣接でございますので、様々な意味で協力関係をつくりながら活用していきたいというふうな考えております。
- Q** 2020年11月27日に入札の新治地内排水流末改修工事が遅れている理由について伺います。
- A** 建設部長 まず1点目につきましては、工事の対象となる排水路が狭隘であるため、隣接者に工事協力を求めたところ、工事の設計変更の要望があったことや、発注後にも工事の設計変更や補償物件の鑑定委託が必要となったこと。2点目としましては、本工事に必要な資材の納入が1カ月程度遅れたこと。加えまして、用地協力者や施工業者への監督員の説明不足等、以上3点の要因が考えられます。今後は広義的に多様な要因を視野に入れ、設計に反映できるよう善処していきます。

Q 複合交流拠点の整備計画について伺う

A 公共施設等マネジメント基本計画に沿って施設の整備を進めます

- 質問通告事項**
- 1 「中心市街地に複合交流拠点（行政・図書館 整備）の市長公約と公共施設等マネジメント計画及び公共施設長寿命化計画との整合性について
 - 2 新治地内排水流末改修工事の遅れについて



中根 光男 議員



Q 生活困窮者の相談状況と対応、生活困窮者自立支援の周知徹底及び今後の取り組みについて伺います。

A 保健福祉部長 令和3年1月末までで、新規相談受付件数は166件ございました。生活困窮者自立支援制度につきましては、各庁舎、ハローワーク等でのチラシの配布、ホームページ及び広報誌等で周知を図っているところでございます。必須事業である自立相談支援事業及び住居確保給付金の支給に加えまして、任意事業である就労準備支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業、子どもの学習・生活支援事業の全てを完全実施しており、今後とも自立相談支援機関である社会福祉協議会と連携を密に図ることで、より一層各種事業を充実させ、一人でも多くの方が生活保護へと陥らなくて済むようよう取り組んでまいりたいと考え、これらの事業を実施していくものであります。

Q 生活困窮者の支援・対応状況について伺う

A 社会福祉協議会と連携し、より一層各種支援事業を充実させていきます

質問通告事項

- 21** 生活困窮者の相談状況と対応について
公立小学校で1クラス40人学級から段階的に35人学級にする取り組みについて
- 3** 新規就農者の実態と育成について



設楽 健夫 議員



Q 新型コロナウイルス感染抑止、クラスター対策とワクチン接種の県発表の8項目施策の当市の実施・対策・補強について伺います。

A 保健福祉部長 福祉施設従事者への検査、県において入所系福祉施設の従事者が検査を受け、全て陰性と判定。国によるガイドラインに基づき、基本的なマスクや手洗い、消毒等感染防止対策、利用者や職員の体調管理と記録の徹底、感染経路の遮断、来所者の立入り制限等、各施設において適切な対処を市として確認しております。

自宅療養者への対応としましては、土浦保健所において毎日一、二回の電話連絡、健康状態を含む安否確認を行い、保存可能な食料品を梱包し、1回の配送当たり5日間程度の内容とする支援を実施。ひとり親世帯への対応としましては、土浦保健所から親族の方に依頼をする場合や、児童養護施設での一時預かりなどにより対応をしております。

Q 新型コロナウイルス感染抑止、クラスター対策について伺う

A 各施設において適切な対処を確認しております

質問通告事項

- 1** 新型コロナウイルス感染抑止、クラスター対策、ワクチン接種について
- 2** SDGs（誰一人取り残さない社会の実現）にもとづく教育・児童福祉行政について
- 3** 政治倫理条例と職員採用コンプライアンス及び職務給評価制度について



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、質疑応答を通常90分の持ち時間で行う一般質問は、45分に短縮して行いました。

21 質問通告事項
入札制度の改善について
新型コロナウイルス感染症防止対策について

佐藤 文雄 議員



- Q** 過去6年間の入札結果の落札率分布図を検証したところ、落札率が最低制限価格に近いうちに集中しています。「応札した業者が最低制限価格以下であれば無効となる」方式は応札業者の努力を踏みにじるものだ。最低制限価格制度やめ低入札価格調査制度に変えるべきではないか伺います。
- A** 総務部長 低入札価格調査制度につきましては、工事の品質の確保といった点では十分に注意すべき点がございまして、様々な角度から調査を行い、より良い方法を考えて方針を定めていきたいと考えております。
- Q** 茨城県では、医療機関や高齢者施設等の福祉施設においてクラスターが頻繁に発生しています。特に医療機関や高齢者施設、保育所、学校を含む大きな施設の職員と出入業者に対する定期的なPCR検査を実施することについて伺います。
- A** 保健福祉部長 まず高齢者施設の職員に対しては県の事業として行っており、ほかの施設につきましても、必要性や費用対効果を踏まえ、都道府県において立案し、実施されるものと考えております。

Q 最低制限価格制度をやめ、低入札価格調査制度に変えるべきではないか伺う

A 様々な角度から調査を行い、より良い方法を考えて方針を定めていきたい



質問通告事項

- 1** 雪入山・浅間山周辺のハイキングコースの維持管理と環境保護について
- 2** かすみがうら市のホームページ及び広報誌等のリニューアルについて

川村 成二 議員



- Q** 雪入山・浅間山周辺は、筑波山地域ジオパークのジオサイトに指定されており、環境保護が重要であるとの考えから、昨年12月の定例会において、国有林を通るコースの借用手続きの対応と、絶滅危惧種に指定されているキンランの保護への取り組みを求めました。その後の対応について伺います。
- A** 都市産業部長 国有林を通るコースの借用手続きのその後の対応でございますが、指定管理者やボランティア団体との意見交換を実施して現状把握に努めるなど、関係団体等との連携を深める中で、新たな課題や多種多様な提案等が提起されたこともございますので、少し時間をかけて、丁寧に対応させていただきたいと考えております。三ツ石森林公園内のキンランにつきましては、今後も継続して、指定管理者やボランティア団体等と連携して保全に努めてまいりたいと考えております。
- Q** 市のホームページ及び広報誌がリニューアルされたことは、本市のイメージアップにつながるものと受け止めています。今回のリニューアル内容について伺います。
- A** 市長公室長 誰もが利用しやすく情報が検索しやすいホームページ、また、読みやすく親しみやすい広報誌を目標に、リニューアルを実施いたしました。大きな変更点として、ホームページは新たなページを展開せず、同一画面で情報の一覧を確認できるデザインに変更した点、広報誌は情報量を増やすと共に市民の要望を取り入れた紙面構成とした点でございます。

Q 雪入山・浅間山周辺のハイキングコースの維持管理と環境保護について伺う(2回目)

A 関係団体等と連携して対応したいと考えております



▲キンラン(三ツ石森林公園内)